

追悼

韓国オリエンテーリング連盟を育てた 呉正煥 顧問 (Oh 先生) 逝く

サン・スーシ
西山 立

長年にわたり韓国でのオリエンテーリングの発展に尽力され、日本をはじめとする国際交流で大きな足跡をのこされた呉正煥(オジョンファン)顧問が9月9日他界された。韓国で初の国際大会となるAPOCを1年後にしての悲報だった。

呉顧問との出会い

1988年4月、八ヶ岳で開催された全日本大会に韓国のオリエンティアが招待され参加していた。その4年前から韓国語を学習していた私は彼らに声をかけて話をしたが、その時にお会いしたかどうかは憶えていない。しかし同年秋にソウル近郊で開催された韓日親善大会の時から、流暢な日本語で日韓オリエンティアの交流をとりもたれていたことをよく記憶している。

温和で、時に皮肉混じりのユーモラスな語り口で、大会後の交流会での意思疎通に活躍されていた。

国際交流での活躍

呉顧問は80年代後半に連盟副会長としてIOFや日本のオリエンテーリング技術資料を取り寄せ翻訳し、自国に紹介されていた。韓国連盟は79年にIOFに加盟しているが、その頃までは「アルパイン-0」と称する韓国式オリエンテーリングが主流になっていたため、翻訳された情報は国際ルールによる競技オリエンテーリングの定着に大きく貢献することになった。

88年の韓日大会に続いて89年の日韓親善(佐賀)、90年韓日(釜山)、その後しばらくは紆余曲折を経て92年APOC(富士)、94年日韓親善(伊勢)、95年韓日(慶尚道)、97年日韓(富士)と多くの大会を通じての日韓交流を積み重ねる間に国境を越えたクラブ間の姉妹交流も始まった。呉顧問はそんな草の根交流の場でも積極的に仲介をされて来た。

最近では病気がちで「最近、呉さんにメールをしても返事がこないのだが・・・」という相談を日本のオリエンティアから受けて、韓国のオリエン



2002年123クラブ大会にて、中央が呉顧問

ティアに聞いて見ると実は入院中ということもあった。それでも日本など外国のオリエンティアから大会情報のメールを受け取れば翻訳して連盟のホームページ掲示板に掲載されていた。また最近では韓国でのトレイルOの普及にも尽力されていた。

呉顧問は、韓国人でありながら日本人であることを強制された時代を生きてこられた人である。それだけに、日本と韓国のオリエンティアが交流し、互いに信頼しながら一緒に活動していく姿がうれしかったのだらうと思う。

大会会場で、過去に対するご自分の思いを日本から来たオリエンティアたちに語ってくれたこともあった。

韓国連盟での呉顧問

韓国連盟の事情は私もよくわからないが、呉顧問は上から指導するのではなく、オリエンティアに任せて見守っていくやり方の人だったと思う。韓国でもオリエンティア同士の意見の相違はあっても、全ての人から慕われる様な人だった。健康だった時は全国の大会に足を運びオリエンティアを見守り続けていた。その姿を韓国APOCで見られないことは寂しい。

????? ???? ???? .

(ご冥福をおいのりします。)

(西山 立)

呉(Oh)先生のこと 小山 太郎

6月に京畿道大会に招かれて訪韓したときにお目にかかる予定だったが、前日になって検査入院だからだめになったと電話があり、お会いすることが叶わなかった。その時はお元氣そうなお声だったのだが…。かえすがえすも残念なことであった。先輩ではあるものの、お互い比較的近い世代のためか共通の話題も多く、日本人よりも正確な日本語で礼儀正しく話される先生であった。われわれ日本人の面倒をよく見ていただいたが、不幸な日韓の歴史のお話しを、もっと早く、もっと多く伺っておくべきであったと悔やまれる。ほんとうに有難うございました。合掌

(小山 太郎)